

用語説明

Nº	基本構想 初 出 頁	用語	説明
1	基本 構想	3 IT革命	インターネットの発達やデジタル化など情報技術の革新が進むことによって、社会やわれわれの生活が大きく変ること。
3	基本 構想	22 アグリパーク（農業公園）	市民が農業について学び、体験・交流することを目的とした総合的な農業振興・緑化の拠点施設。
9	基本 構想	8 NPO（民間非営利組織）	Non-Profit Organizationの略。 非営利で自主的、自発的に公共的な活動を行う民間の組織のことで、民間非営利組織ともいう。
11	基本 構想	22 園芸福祉	園芸には、その作業や観察等を通して、植物を育てたり、眺めたり、触れたりすることにより、不安や緊張がほぐれたり、気持ちが落ち着くなど、私たちの心や体を癒したりする働きがある。近年、老人医療や介護、障害者福祉、教育といった現場で、農耕・園芸の効用を活用した活動が行われるなど、様々な場面において、園芸福祉が活用されている。
13	基本 構想	22 援農ボランティア	近年、農家の高齢化や深刻な後継者不足などから、農村では、慢性的な人材不足の状況にある。一方で、都市住民の中には、土とみどりにふれあう機会を市民農園に求めたり、本格的な農作業を体験してみたいという人が年々増えている。このため、農作業に興味のある人が、農作業についての基本的な研修を受講し、受け入れ農家において援農ボランティアとして活動する制度。
17	基本 構想	19 オンリーワンのまち	この計画では、名張市の地域資源を最大限活用しながら、突出機能を磨き、個性的で他にはない誇りの持てるふるさと、まちを築いていくこと。
18	基本 構想	22 ガーデンシティ	この計画では、名張川などの水辺環境保全活用、森林の新しい管理の仕組みづくり、地域ぐるみの緑化運動の推進などによる、水と緑に囲まれた庭園のようなまちのことを指している。
20	基本 構想	6 外国人登録人口	外国人登録法により調査時に外国人登録をしている公簿上の人口。
40	基本 構想	31 行政評価システム	政策、施策、事務事業等について、一定の基準や指標をもって行政の取組みの妥当性や効率性・効果を判定するシステムのこと。
41	基本 構想	1 協働	市民と市民、市民と行政が、お互いの役割と責任を自覚し、それぞれの持つ特性を活かして、対等の立場で、補完・協力しながら、社会的課題の解決に当たること。
45	基本 構想	3 グローバル化	高速交通体系や情報通信ネットワークの発展を背景に、国際間の相互依存関係が高まり、社会生活における相互関係、相互依存関係が、国家の枠を越えて進展していくこと。
48	基本 構想	26 京滋奈三地域	京都、滋賀、奈良、三重の4府県にまたがる地域を対象に、行政と経済界が中心となって進めている広域交流圏のこと。

用語説明

№	基本構想 初 出 頁	用語	説明
60	基本 構想	23 コーディネート	調整する。釣り合いをとる。
61	基本 構想	16 国土利用計画	国土利用計画法に基づく、土地利用に関する最も基本的な計画。国、県、市のそれぞれの段階で、策定されている。
65	基本 構想	5 コミュニティ	共同体、地域社会のこと。一般的に、小学校区程度の身近な地域社会。
68	基本 構想	21 コミュニティビジネス (地域生活支援事業)	住民の能力、技術など地域資源を活かして、環境、福祉、教育などの幅広い分野で、まちづくり等と連携して進める事業（ビジネス）のこと。
78	基本 構想	21 時間預託（タイムダラー）制度	一般的には、将来に備えて、元気なときにサービスをして点数を貯め、寝たきりになるなど自分がサービスを必要とするようになった際、これまでの点数を使って介護を依頼するというように、時間をためておく制度。
79	基本 構想	13 資源循環型～	廃棄物をできる限りリサイクルして、資源として再利用するなど、地球環境への負荷を抑え、限られた資源を有効に活用するシステム。
86	基本 構想	8 社会資本ストック	「蓄えたもの（在庫品、手持品）」の意味で、具体的には、道路・鉄道・学校・病院・公園・工場・住宅等の社会基盤をはじめとする現有の資産のこと。
89	基本 構想	6 住民基本台帳人口	住民基本台帳により区市町村の住民票に記載されている人口。
90	基本 構想	22 循環型農業	地域で発生する、有機質資源の堆肥などへの循環利用、農業用資材の循環利用を行うとともに、化学肥料や化学農薬の使用量を低減する等、消費者のニーズに応じた農産物の安定生産及び環境への負荷低減を図る農業。
99	基本 構想	26 新国土軸	国の全国総合開発計画である『21世紀の国土のグランドデザイン』で目指す多軸型国土構造をいい、北東国土軸、日本海国土軸、太平洋新国土軸、西日本国土軸がある。
100	基本 構想	23 人材バンク	これまでの職業・趣味・生活などで、自らが培った知識や技術を、社会に還元したいという希望を持つ市民が登録する制度。個人や団体・機関等の求めに応じて、指導者などとして活動する。
103	基本 構想	22 森林ボランティア（活動）	自主的に森林づくり（森林整備）に参加し、自らの責任において判断し、行動する市民または市民グループの一員。その活動を通して学んだことを広く市民に伝えて、市民参加の森林づくりの輪を広げていく役割も担っている。

用語説明

№	基本構想 初出頁	用語	説明
104	基本構想	22 水源涵養	樹木および地表植生などにより、降雨や融雪水の地下への浸透が助長され、溜まった水が徐々に流出される森林機能のこと。
109	基本構想	22 スロータウン	まちづくりにおいて「スロー社会」を自らの新たな社会システムとして目指していこうとする市町村および時計に刻まれる世界共通の時間軸の下、効率、利便性を重視し、新しいものを追求する「スピード社会」と、自然のリズムなど多様な時間軸を認め、万事手間隙をかけて物事を深く追求し、“保存・再生”に重点を置く「スロー社会」とが共存する社会システムを目指していこうとする市町村のこと。「スロータウン」においては、原点である地域資源・天然資源を見つめ直し、手間隙を惜しまず、“保存・再生は革命”という強い意志をもって、国民一人一人の真に“より良い人生”の実現へとつながるまちづくりに取り組んでいる。
111	基本構想	3 スローライフ	人々の価値観や生き方の多様化に伴い、高度経済成長時代における効率性や機能性一辺倒のライフスタイルを見直し、暮らしのスローな部分に光をあてることにより、地域の自然をはじめ、歴史や伝統・文化の中の個性など、「本物」を再評価し、再生・復活を目指す暮らしぶり。
113	基本構想	6 生産年齢人口比率	15歳以上65歳未満の人口が占める比率。
119	基本構想	23 世界無形遺産	これまで民族文化財、フォークロア（民俗）、口承伝統などと呼ばれてきた「無形」の文化を、人類共通の「遺産」として捉え、保護していくことを目的とし、ユネスコが2001年より隔年で、世界の伝統的文化の表現形式や文化空間を発表している「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」の略称。
121	基本構想	38 総合窓口化	情報通信技術を活用して、各種申請・届出等の行政手続きをオンライン化することにより、身近な施設において1箇所または1回で様々な行政サービスを簡単に提供すること。
130	基本構想	21 地域通貨	限定された地域や特定の共同体のみで、利用可能な通貨、またはその仕組みの総称。1929年の世界恐慌の後、町の復興や失業者対策のために自発的に生まれた特定の地域だけで通用する通貨システムにはじまり、今では世界各地で、助け合い、コミュニティの再生、地域経済の振興、リサイクルなど様々な目的、運営方式で実践されている。 通貨形態は、紙幣型・小切手型・証書型・通帳型・カード型などがあり、現金に換金できるものや何らかの物的担保によるものも存在する。
133	基本構想	21 地域ビジョン	地域の目標を明確にするため、地域の将来のあるべき姿、実現すべき姿を示したもの。
135	基本構想	4 地域ポテンシャル	地域が可能性としてもっている能力。潜在的な力。

用語説明

№	基本構想 初出頁	用語	説明
136	基本 構想	21 地域予算制度	各地域に一定の金額を交付し、地域住民の知恵やアイデアによる施策や事業の実践に充てるもので、従来の補助金制度と異なり、事業を限定したり、補助率を設けず、地域に交付を行う。地域住民の福祉増進、地域づくり推進に寄与するものであれば、自由に使うことのできる交付金。
138	基本 構想	22 地産地消	地元で生産した農産物を、地元で消費すること。
139	基本 構想	22 地消地産	地域の消費者のニーズに対応して、生産者が新鮮で安全・安心な地元の農産物を安定的に提供すること。生産者の立場で、「地産地消」を推進するための取り組み。
150	基本 構想	23 田園・歴史・文化ミュージアム構想	観阿弥創座の地、美旗古墳群などの歴史文化資源や美しい田園風景、初瀬街道沿いのまち並みや伝統工芸などの地域資源を生かし、地域全体を博物館とみなして整備しようとする構想。
153	基本 構想	38 電子申請（・届出）	住民と行政との間で、これまで書面でやり取りされてきた申請・届出や結果通知等の手続をインターネット等を利用してオンライン化すること。
160	基本 構想	9 都市内分権	地方分権の考え方の一つで、地域社会における問題解決のために、決定の機能や権限を住民団体等にゆだね、地域が自主的に決定する範囲を広げていこうというもの。
161	基本 構想	16 土地利用マスタープラン	土地の持つ自然的な性質や属性を基本として、合理的な土地利用のあり方を明らかにしたものであり、名張市総合計画に基づく最も基本的な土地利用計画として位置づけるもの。
166	基本 構想	25 奈良中和地域	橿原市を中心都市とする18市町村によって構成される奈良県中部地域で、我が国を代表する歴史文化遺産の宝庫として、“日本のふるさと”とイメージされてきた地域。
173	基本 構想	6 年少人口比率	15歳未満の人口が占める比率。
178	基本 構想	10 パートナーシップ	行政、住民などが、対等な関係のもとで協力して、事にあたること。
184	基本 構想	36 バリアフリー	障害者や高齢者などの誤用を避けたり、使いやすくしたりする工夫をしたもの。バリアフリーとは障害物のない状態。
189	基本 構想	6 東大和地域	奈良県東部に位置する榛原町・室生村・曽爾村・御杖村などの地域。

用語説明

№	基本構想 初出頁	用語	説明
195	基本構想	23 ふるさとガイド（語り部）	地域住民自らが、その地域が持つ豊かな資源について、それぞれの得意分野で活動する観光ボランティア。
201	基本構想	3 ボーダーレス	経済・文化などで、国境線が意味をなさなくなり、自由に行き来すること。
204	基本構想	9 ボランティア	無償、善意、自発的に技術援助、労力提供を行う民間奉仕者の個人又はグループ。近年では、無償性は必ずしも要件ではなく、交通費・食事代・報酬等を受け取る場合もボランティアとされる場合がある。
207	基本構想	23 マイスター登録制度	ものづくりを支える基盤的技術の分野で優れた技能・技術者をマイスターとして認定してその社会的評価を高め、後進の指導などの活動を行い、優秀な技術・技能を継承・発展させ、また人材の確保及び育成を図ることによって、地域産業の振興に役立てようとする制度。
211	基本構想	39 目標管理制度	命令や罰則、ノルマによって統制するのではなく、個人の主体的な行動を重視し、達成すべき目標の設定、実行、成果の評価というサイクルを定期的に行うことにより組織目標の達成と人材育成を図る経営管理の手法。
216	基本構想	34 ユニバーサルデザイン	障害者、高齢者、健常者などの区別なく、誰もが分け隔てなく使える、通れる、住めるように商品、街、公園、家の設計、デザインをしたもの。
223	基本構想	7 ライフスタイル	生活様式、衣食住に限らず、行動様式や価値観なども含めて用いる。
227	基本構想	23 リカレント教育	社会人が、高度な知識や技術の習得を目的として、再び大学などの高等教育機関で学習すること。
229	基本構想	26 リニア新幹線	起点である東京都から、甲府市付近、名古屋市付近、奈良市付近を主な経過地とし、終点である大阪市までを時速500Kmで走行する超電導磁気浮上式リニアモーターカーによって結ぼうとするもので、この計画は、全国新幹線鉄道整備法に基本計画路線として位置付けられている。この計画が実現すれば、東京～大阪間が 約1時間で結ばれる。
232	基本構想	23 歴史街道構想	かつて京や江戸を結んだ東海道をはじめ、その時代時代に数多くの「街道」が発達し、有形、無形の歴史的な遺産が現在でもたくさん残されている。三重県では「街道」の持つ魅力を、観光資源としての活用にとどまらず、豊かでうるおいのある生活や文化を創造していくため、「みえ歴史街道構想」を策定し、魅力ある地域づくりへの取り組みが進められている。また、三重県、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県を対象地域として、近畿圏の経済界と行政が共同で取り組む「歴史街道計画」を1991年から進めている。
234	基本構想	25 レベルアップ	水準を高めること。また、水準が高まること。

用語説明

№	基本構想 初出頁	用語	説明
235	基本 構想	6 老年人口比率	65歳以上の人口が占める比率。
236	基本 構想	46 ロードサイドショップ	幹線道路沿いにある駐車場を備えた郊外型の店舗や施設。